



豊かな心をもち

求めて学ぶ

たくましい佐和山っ子の育成

◇ 地域学習

生活科やさわやまタイム（総合的な学習の時間）などに次のような学習をしています。

1年「自然に親しもう」



【雨つぼ山探検】

3年「雨つぼ山博士になろう」



【昆虫博士のお話】

5年「びわこ環境学習」



【芹川探索】

2年「飛び出せ町へ」



【町探検】

4年「芹川の伝統探検隊」



【彦根仏壇作り】

6年「地域の歴史を学ぼう」



【佐和山探索】

◇異学年交流・色別活動

年間を通し、昼休みに1年生から6年生を縦割りにした色別遊びをしたり、2つの学年がペアになって活動する異学年交流をしたりしています。運動会でも、ペアの学年による色別対抗の競技をしています。幼稚園、保育園との交流も行いました。



【色別遊び】



【運動会おみこしわっしょい】



【保育園幼稚園への訪問（委員会活動）】



【秋のフェスティバル】

◇朝のさわやかタイムの取組

1日のスタートの時間を「さわやかタイム」とし、「生きる力」を育てる時間として位置づけています。火曜日の朝は元気にびわこマラソンをします。雨の日は佐和山体操をしています。月曜日は10分間読書、金曜日には読み聞かせをしています。また2週間に1度、保護者の方や地域の方が読み聞かせに来てくださいます。

※水・木曜日は学力向上に向けてプリント学習をしています。



【びわこマラソン】



【読書ボランティアさんによる読み聞かせ】

自分の思いや考えを伝え合い、ともに学び合う子どもの育成

授業研究

自分の考えをかいて伝え合う算数学習

授業をみる観点の具体化

- 研究仮説および授業研究の内容、単元の目標・評価規準に基づき、授業のみる観点（本時の評価規準と評価方法）を設定する。
- 授業をみる観点をふまえ、A基準（十分満足できる）とB基準（おおむね満足できる）B基準に達していない場合の手だてを具体化する。

つきたい力の重点化・具体化

- 【考える力】
- 自ら学びたくなるような単元構想および算数的活動の工夫
 - 子どもの関心意欲を高める単元構想の工夫
 - 子どもが実感・納得し、「わかる」「できる」喜びを味わえる手だての工夫

- 【かく力】
- 自ら考え、かく力を高める手だての工夫
 - 自分の考えを言葉、図、表、式等でわかりやすくかき表すための手だて
 - 子どもの思考過程がわかるノートやワークシートの工夫

- 【伝え合う力】
- 自分の考えを生き生きと伝え合い、学び合う場の工夫
 - ペア交流、小グループでの話し合い活動の工夫
 - 自信をもって生き生きと伝え合える場の工夫
 - 発表ボードやICT機器等の有効活用

- 【佐和山メソッド】
- 学習にかかわるメソッド
 - 鉛筆の持ち方、姿勢
 - ノートの使い方、用具の使い方
 - 発表の仕方、聞き方
 - 生活にかかわるメソッド
 - あいさつ、就寝時刻、整理整頓

- 【言葉の力】
- 話す力、聞く力を育てる
 - 学年による系統的な指導
 - 各教科等における言語活動の充実
 - 読書活動の充実

- 【基礎・基本の定着】
- 「朝のさわやかタイム」
 - 国語、算数の継続的な学習
 - 算数科の始めの時間を使った学習
 - 音読計算カード、フラッシュ教材の活用
 - 家庭学習の習慣化

- 【学習環境づくり】
- 学級集団、学習集団の雰囲気づくり
 - 学級活動の充実
 - 教室環境の整備
 - 掲示物の工夫
 - ICTの有効活用

素地づくり